令和2年度　指定管理者年度評価シート

1　公の施設の基本情報

施設名称	千葉市中央いきいきプラザ 千葉市花見川いきいきプラザ 千葉市稲毛いきいきプラザ 千葉市若葉いきいきプラザ 千葉市緑いきいきプラザ 千葉市美浜いきいきプラザ	千葉市蘇我いきいきセンター 千葉市花見川いきいきセンター 千葉市さつきが丘いきいきセンター 千葉市あやめ台いきいきセンター 千葉市大宮いきいきセンター 千葉市都賀いきいきセンター 千葉市越智いきいきセンター 千葉市土気いきいきセンター 千葉市真砂いきいきセンター
条例上の設置目的	● 千葉市老人福祉センター設置管理条例（昭和59年千葉市条例第20号）第1条で設置する老人福祉センター ● 千葉市いきいきセンター設置管理条例（平成14年千葉市条例第14号）第1条で設置するいきいきセンター	
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	● 高齢者の健康の増進、教養の向上、世代間交流等の機会を提供することにより、高齢者が健康で生きがいのある生活が送ることができる地域社会を構築していく。 ● 高齢化の進展を見据え、できる限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、「地域包括ケアシステム」の構築・強化を図っていく。	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	● 高齢者が学習意欲を発揮し、地域社会への参画意識を持てるような機会を提供していく。 ● 高齢者の健康づくりや介護予防の場を提供していく。	
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの高齢者に施設を利用してもらう	
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートによる利用者満足度	
数値目標※	① 平成27年度利用者数を基準とし、千葉市の高齢者人口の伸び率を乗じた人数以上 ② 満足度60％以上	
新型コロナウイルスの影響	● 4月4日・5日、4月8日～5月27日、12月26日～3月21日の期間を臨時休館とした。 ● 高齢者福祉講座・生きがい活動支援通所事業・機能回復訓練は、上半期及び12月26日～3月21日の期間休止。 ● 部屋の定員を半分にして各種事業を実施。 ● 囲碁・麻雀・将棋・カラオケなど3密を避けることのできない活動は禁止。	
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課	

2　指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人　千葉市社会福祉協議会（旧：千葉市社会福祉事業団）
構成団体（共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	平成23年度に実施した外郭団体の事務事業の見直しの結果を踏まえ、いきいきプラザ及びいきいきセンターのような安定的なサービス供給が求められる施設の指定管理については、公募によらない方法により、外郭団体に行わせるべきサービスとして整理され、平成24年度に各条例を改正し、公募によらない方法により指定管理を行うこととなった。
管理運営費の財源	指定管理料

３ 管理運営の成果・実績

（１）施設利用者数

施設名	数値目標（※１）	Ｒ２年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	61,022人	12,363人	20.3%	評価項目から除外します。
千葉市花見川いきいきプラザ	77,792人	22,410人	28.8%	
千葉市稲毛いきいきプラザ	72,092人	20,275人	28.1%	
千葉市若葉いきいきプラザ	91,077人	18,155人	19.9%	
千葉市緑いきいきプラザ	61,189人	15,545人	25.4%	
千葉市美浜いきいきプラザ	131,005人	27,034人	20.6%	
千葉市蘇我いきいきセンター	19,415人	4,903人	25.3%	
千葉市花見川いきいきセンター	37,817人	4,681人	12.4%	
千葉市さつきが丘いきいきセンター	20,341人	3,413人	16.8%	
千葉市あやめ台いきいきセンター	13,753人	3,552人	25.8%	
千葉市大宮いきいきセンター	13,456人	2,029人	15.1%	
千葉市都賀いきいきセンター	30,807人	5,168人	16.8%	
千葉市越智いきいきセンター	11,783人	2,274人	19.3%	
千葉市土気いきいきセンター	12,742人	3,737人	29.3%	
千葉市真砂いきいきセンター	23,091人	3,821人	16.6%	
合計	646,574人	149,360人	23.1%	

※1 R3年3月末60歳以上人口306,529人÷27年3月末全市60歳以上人口288,885人＝106.11%
各施設27年度実績×106.11%＝数値目標

（２）利用者アンケートによる満足度

施設名	数値目標(※2)	R2年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ		83.7%	139.5%	A
千葉市花見川いきいきプラザ		82.8%	138.0%	A
千葉市稲毛いきいきプラザ		83.6%	139.3%	A
千葉市若葉いきいきプラザ		80.5%	134.2%	A
千葉市緑いきいきプラザ		81.1%	135.2%	A
千葉市美浜いきいきプラザ		77.1%	128.5%	A
千葉市蘇我いきいきセンター		79.9%	133.2%	A
千葉市花見川いきいきセンター	60%	82.7%	137.8%	A
千葉市さつきが丘いきいきセンター		85.6%	142.7%	A
千葉市あやめ台いきいきセンター		86.1%	143.5%	A
千葉市大宮いきいきセンター		95.3%	158.8%	A
千葉市都賀いきいきセンター		88.1%	146.8%	A
千葉市越智いきいきセンター		84.4%	140.7%	A
千葉市土気いきいきセンター		82.2%	137.0%	A
千葉市真砂いきいきセンター		83.3%	138.8%	A
合計	60%	82.2%	137.0%	A

※2　算定方法は、６（１）アンケート質問８（６）の（満足＋ほぼ満足）÷回答者数で算定

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
A：成果指標が市設定の数値目標の120％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
B：成果指標が市設定の数値目標の105％以上120％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
C：成果指標が市設定の数値目標の85％以上105％未満
D：成果指標が市設定の数値目標の60％以85％未満
E：成果指標が市設定の数値目標の60％未満

4 収支状況

（１）収入　　（単位：千円）

費目	R2年度 分類	R2年度 金額	[参考] R1年度	計画実績差異 分類	計画実績差異 金額	主な要因
指定管理料	実績	590,338	619,349	実績－計画	△ 55,746	以下①のとおり
	計画	646,084	630,071	計画－提案	△ 32,882	予算編成時に精査したため。
	提案	678,966	673,439			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	590,338	619,349	実績－計画	△ 55,746	
	計画	646,084	630,071	計画－提案	△ 32,882	
	提案	678,966	673,439			

（２）支出　　（単位：千円）

費目	R2年度 分類	R2年度 金額	[参考] R1年度	計画実績差異 分類	計画実績差異 金額	主な要因
人件費	実績	400,398	403,022	実績－計画	△ 37,026	職員の人事異動による
	計画	437,424	418,555	計画－提案	△ 4,825	予算編成時に精査したため。
	提案	442,249	440,070			
事業費	実績	64,659	93,826	実績－計画	△ 32,842	以下②のとおり
	計画	97,501	97,107	計画－提案	△ 19,818	予算編成時に精査したため。
	提案	117,319	117,348			
事務費（委託料を除く）	実績	41,799	42,173	実績－計画	△ 1,206	以下③のとおり
	計画	43,005	44,424	計画－提案	△ 8,986	予算編成時に精査したため。
	提案	51,991	51,576			
委託費	実績	52,168	50,233	実績－計画	△ 219	
	計画	52,387	50,250	計画－提案	364	予算編成時に精査したため。
	提案	52,023	52,058			
その他事業費	実績	21,944	28,559	実績－計画	6,177	職員の人事異動による
	計画	15,767	19,735	計画－提案	383	ファイナンスリース債務の返済支出を事業費から科目変更したため
	提案	15,384	12,387			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	580,970	617,711	実績－計画	△ 65,114	
	計画	646,084	630,071	計画－提案	△ 32,882	
	提案	678,966	673,439			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。
「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

①収入の「実績－計画△55,764」の差額の主な要因について
- 臨時休館及び事業休止により不要となった費用（29,067千円）を、感染症対策により要した費用（5,687千円）と相殺し市へ返還したため。
- 人件費の残額（32,366千円）を市に返還したため。

②事業費の「実績－計画△32,842」の差額の主な要因について
- 保健衛生費　4231千円　→　感染症対策物品の購入による
- 水道光熱費　△12,472千円　→　臨時休館による
- 燃料費　△4,091千円　→　臨時休館による
- 教育指導費　△19,560千円　→　臨時休館に伴う事業の中止による

③事務費（委託料を除く）の「実績－計画△1,206」の差額の主な要因について
- 保守料　△1,304千円　→　契約差金による
- 事務消耗品費　117千円　→　感染症対策物品の購入による

５ 管理運営状況の評価

（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	―	新型コロナの影響により減じており評価項目から除外します。
利用者アンケートによる満足度	A	3(2) 達成率137.0%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：成果指標が市設定の数値目標の１２０％以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＢとする。）
Ｂ：成果指標が市設定の数値目標の１０５％以上１２０％未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はＣとする。）
Ｃ：成果指標が市設定の数値目標の８５％以上１０５％未満
Ｄ：成果指標が市設定の数値目標の６０％以８５％未満
Ｅ：成果指標が市設定の数値目標の６０％未満

（２）市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	―	新型コロナの影響により減じており評価項目から除外します。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
Ａ：選定時の提案額から１０％以上の削減
Ｂ：選定時の提案額から５％以上１０％未満の削減
Ｃ：選定時の提案額と同額又は５％未満の削減
（Ｄ・Ｅ：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし）
－：対象外（市の指定管理料支出がない。）

（３）管理運営の履行状況

評価項目	中央いきいきプラザ		花見いきいきプラザ		稲毛いきいきプラザ		若葉いきいきプラザ		緑いきいきプラザ		美浜いきいきプラザ		蘇我いきいきセンター		花見川いきいきセンター		さつきが丘いきいきセンター		あやめ台いきいきセンター		大宮いきいきセンター		都賀いきいきセンター		越智いきいきセンター		土気いきいきセンター		真砂いきいきセンター	
	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価	自己評価	市の評価
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理																														
市民の平等利用の確保 関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
2 施設管理能力																														
(1)人的組織体制の充実 管理運営の執行体制 必要な専門職員の配置 従業員の能力向上	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(2)施設の維持管理業務 施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
3 施設の効用の発揮																														
(1)幅広い施設利用の確保 開館時間・休館日 利用料金設定・減免 利用促進の方策	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(2)利用者サービスの充実 利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング	C	C	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
(3)施設における事業の実施 施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
4 その他																														
市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

【評価の内容】

A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（４）保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
全体的に利用者の高齢化が進んでいるので、引き続き利用者の安全確保に努めていただきたい。	令和2年度	機能回復訓練等の身体を動かす事業に関しては、安全管理を講師に一任するのではなく、介助が必要な方や転倒する恐れがある方の近くに追加の職員を一人配置した。また、事業前後の血圧等のバイタルチェックを徹底したりするなど、安全確保等に務めた。
60代や70代前半の方など、引き続き新規利用者の獲得に努めていただきたい。		前期高齢者のニーズを把握し、50代以上を対象とした相続の講演会といった、プレ高齢者を対象とした事業を施設全体で7事業開催した。新型コロナウイルスの影響で参加人数は延べ9人と低調だったが、今後も継続したい。
各施設のホームページについて、他の市公共施設のホームページと比較し明らかに見劣りする。今後は SNS の活用等も含め、スマートフォンによる閲覧を意識したホームページの作成について、引き続き、検討いただきたい。		ホームページのスマートフォン対応化については、現在、ホームページ運営業者と改修に向けた協議を進めており、令和3年12月を目途に対応させる予定である。さらに、分かりやすいホームページについては、他の施設を参考に見直しを進めている。 また、SNS（Twitter）の活用については、令和3年5月から各施設で導入しており、ホームページとリンクさせることにより機能を補完している。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

（１）指定管理者が行ったアンケート調査

調査方法	令和２年１０月１日～３１日の間、来館者全員にアンケート用紙配布。無記名にて記入の上、アンケート箱設置による回収。
回答者数	５，１４７人

実施内容及び結果

令和2年度アンケート結果

（人）

回答者数合計
5,147

回答者個人属性

居住区 （人）

中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	市外	無回答
616	880	683	891	774	1,136	43	124

性別 （人）

男性	女性	無回答
1,147	3,766	234

年代 （人）

60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	無回答
88	440	1,374	1,711	1,069	345	120

世帯構成 （人）

ひとり暮らし	60歳以上のみの世帯	その他	無回答
973	2,166	1,208	800

質問1 ご利用いただいている内容は次のうちどれですか。(複数回答可) （人）

講座	969	同好会活動	2832	ヘルストロン・マッサージ機	113
講演会	155	体操教室	438	テレビ視聴	14
機能回復訓練	444	入浴・シャワー	19	新聞・雑誌閲覧	10
生きがい活動	920	カラオケ	15	その他	306
世代間交流	20	囲碁・将棋	10	無回答	139
生活・健康相談	42	トレーニング機器	30		

質問2 ご利用いただいている目的は次のうちのどれですか。(複数回答可) （人）

介護予防	体力増進	心配ごとの相談	友人との交流	生きがいづくり
739	2,021	37	1,484	1,168

教養・知識の習得	趣味・レクリエーション	入浴	その他	無回答
1,180	1,541	69	33	214

質問3 どのくらいの頻度でご利用いただいていますか。

ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1回	月1～2回	年に数回	無回答
1.4%	1.9%	10.3%	21.4%	60.9%	1.3%	2.8%
71人	100人	532人	1,099人	3,135人	65人	145人

質問4 いつからご利用されていますか。

今年から	1年前から	2年前から	3年前から	4年前から	5年以上前から	無回答
6.8%	6.5%	8.6%	11.2%	9.0%	52.0%	5.8%
352人	333人	443人	579人	465人	2,674人	301人

質問5 利用開始時に介護認定を受けていましたか。受けていた場合は、判定結果をご回答ください。 （人）

受けてない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	合計
4,677	49	16	11	4	3	3	0	384	5,147

質問6 現在、介護認定を受けていますか。受けている場合は、判定結果をご回答ください。 （人）

受けてない	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	合計
4,035	65	18	15	6	2	2	1	1003	5,147

質問7 主催事業にご参加いただく際、何からお知りになりますか。(複数回答可) （人）

市政だより	いきいきプラザだより	ホームページ	館内掲示	自治会等の回覧	知人の紹介	その他	無回答
2,930	805	94	638	88	949	90	433

質問8 運営状況について、感想をお聞かせ下さい。

設問	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答
(1)設備・備品類の配備状況について	25.1%	44.4%	26.1%	1.3%	0.3%	2.8%
	1,294人	2,285人	1,343人	65人	14人	146人
(2)施設の環境(衛生面・安全性)はいかがですか	29.2%	44.5%	23.5%	0.6%	0.1%	2.2%
	1,502人	2,290人	1,211人	29人	3人	112人
(3)職員の対応はいかがですか。	43.9%	40.1%	15.6%	0.1%	0.0%	0.3%
	2,225人	2,036人	793人	4人	1人	15人
(4)施設や事業の案内、お知らせは充分にできていますか。	23.2%	40.7%	31.0%	1.3%	0.1%	3.7%
	1,194人	2,095人	1,596人	67人	3人	192人
(5)ご利用いただいて介護予防になると感じられますか。	36.4%	42.1%	12.0%	0.9%	1.3%	7.3%
	1,876人	2,166人	616人	46人	69人	374人
(6)全体としてどのように感じますか。	27.6%	52.5%	16.9%	0.3%	0.1%	2.7%
	1,419人	2,701人	869人	17人	4人	137人

※(4)の回答は、「充分、ほぼ充分、普通、やや不充分、不充分、無回答」から選択

※(5)の回答は、「そう思う、まあまあそう思う、普通、やや思わない、思わない、無回答」から選択

※成果指標の利用者アンケートによる満足度は(6)の(満足＋ほぼ満足)÷回答者数で算定 82.2%

※各施設ごとのアンケート結果については、「参考資料１の１－４」に掲載。

（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

苦情については、指定管理者内部で概ね対応がなされており、市へ寄せられた苦情は年間８件と少なかった。「市に寄せられた主な意見・苦情」の欄には一例を記載しています。

市に寄せられた主な意見・苦情	市の対応
中央いきいきプラザのマッサージ器の調子がいつも悪いので修理を行ってほしい。	中央いきいきプラザにすぐに連絡。リモコンに接触不良があったため、すぐに修繕をした。
指定管理者に寄せられた主な意見・苦情	**指定管理者**
初めて風呂を利用したが、浴槽の中に見た目以上に大きな段差があり危険を感じた。	浴槽への出入りの際には手すりをご利用いただくよう案内をした。また、初めてご利用になる方へは必ず説明を行うよう職員に周知した。
浴室でマスクをしていないのに大声で話している人が複数いた。飛沫感染の恐れもあるのでプラザから都度注意をしてほしい。	状況をお詫びし、直ちに脱衣所・浴室等に注意を促すポスターを掲示した。また、職員による定時消毒の際に注意喚起を繰り返し行った。
トイレの鍵の位置が低く使いづらい。	早急に目線の高さになるよう改修をし、認識しやすいよう案内表示を変更した。

7 総括

（１）指定管理者による自己評価

ア　全体

総括評価	**C**	**所見**	●コロナ禍での施設運営及び事業の実施の可否については、千葉市と綿密な協議により決定し、安心・安全にご利用いただくことを最優先とし、感染症対策を徹底して行い、全プラザセンターで感染者を出すことなく実施することができた。 ●千葉市の感染症対策ガイドラインにより感染リスクが高いと想定された制限種目対象者及び団体全てに対し、事前に電話やハガキ等によりそれぞれの対応策を丁寧に説明することで、大きなトラブルもなくご理解をいただいた。 ●全いきいきプラザ・センターで介護予防の強化を図るため、介護予防に関する短期教室、脳トレ、講演会等と様々な事業形態で介護予防の拡充に取り組んだ。 ●緊急事態宣言下による休館時には、自宅で外出自粛中の生きがい活動参加者等に対し、電話にて安否や近況確認を行った。また、自宅でできるホームエクササイズのテキストや、簡単なストレッチ方法を掲載したいきいきだより、自作の脳トレドリルなどを郵送し、自宅でできる活動を促進した。 ●令和２年度より、全プラザセンターにて介護予防の効果を計るべく、生きがい活動支援通所事業において体力測定を実施した。９月は全項目の体力測定を実施、３月は休館の影響で２項目のみ実施することが出来た。 ●あんしんケアセンター、生活支援コーディネータとの連携を強化し、講演会講師や出張相談会を依頼した。 ●健康測定会などの健康に関する事業を開催し、併せて地域での相談業務を積極的に行い、高齢者の健康増進を図るとともに、いきいきプラザ・センターの認知度を向上させた。 ●広報活動ではいきいきプラザ・センターの魅力を伝える手段として機関誌配布、ポスター掲示、折り込み広告等、また、地域へ出向く出張体操や健康イベントにおいて事業案内等の営業活動も行い新規利用者の獲得に繋げた。

イ　施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	C	●「生きがい活動支援通所事業」は3密状態であった生きがい活動支援室について、休館期間中に広い部屋へ移動を行い、しっかりと感染予防対策を取り、利用者が安心して参加できる形で事業再開を行うことが出来た。休館期間中に新たなレクリエーションプログラム（新たなゲーム等）の準備を行い、プログラムの刷新を行った。昨年度から先行して中央いきいきプラザで試行的に取り入れた体力測定について、利用者属性と測定値を入力すればご利用者へ比較評価をフィードバックできるエクセルシート（体力測定評価票）を作成し、各施設へ配布した。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により測定項目を縮小したが、令和3年度は全項目で測定を実施する予定である。 ●R2年度の老年看護学臨地実習Ⅰについて、当方の休館による実習中止や学校側の判断による実習中止が相次いだ。学校側から、オンラインによる代替実習ができないかとの相談があり、全プラザ・センターを代表して今年度初めて実施した（看護学校2校、計7コマの授業）。資料作成に当たっては、施設に来ることが出来ない学生に、よりリアルな利用者像や臨場感のある現場を知ってもらうため、利用者インタビューや動画等を取り入れた。 ●歴史講演会は、新型コロナウイルス感染症対策により定員を減らさざるを得なかったが、人気な講座であるため、受講できない方が多く発生した。その対策として、同じテーマの講演会を2回実施する等の工夫を行った。 ●今年度目標に掲げていた地域ケア会議について、近隣あんしんケアセンターと連携し、地域住民や民生委員、ケアマネージャー等を交え開催することが出来た。 ●入館者の健康チェックについて、看護師が検温だけでなく全身状況による体調把握を行った。その結果、体調不良者を入館前に発見することが出来、また早期に病院受診に繋げることが出来たケースがあった。 ●相談事例検討会など、オンラインによる研修や会議に積極的に参加した。

花見川いきいきプラザ	B	●感染症対策の一環として、看護師が窓口に立ち、利用者ひとりひとりの検温を実施しながら対話し健康状態の把握に努めた。同時に感染対策の必要性や疑問点等について丁寧に説明し日常生活や施設利用についての不安を取り除けるよう支援した。 ●各事業で看護師によるコロナウィルス感染症についてのミニ講和の時間を設け、感染症の知識を伝えた。同時に利用者からの質問等に答える等して看護師の存在をアピールし、健康相談に繋げた。 ●講演会は計画6回より50回増加し、延べ56回開催した。延べ980人参加し、うち、体操系の講演会を46回開催した。 ●地域交流として、夏休み映画上映会、クリスマスコンサートやクリスマスリースやお正月飾り等の作成を開催し、パンフレットの配布等により広報活動に努めた。 ●千葉北高校吹奏楽部によるクリスマスコンサートは、3密を防いで実施できるよう屋外のゲートボール場を活用し実施した。 ●こてはし台・さつきが丘あんしんケアセンターによる出張相談会を継続し、介護・福祉・医療等多岐にわたる相談に乗れるよう体制を整えた。 ●後期より実施した高齢者福祉講座は利用者アンケートで要望があったボッチャやリズム＆ストレッチを開講した。6講座のうち新規に3講座実施した。 ●花見川区健康課専門職による講演会を実施する他、「健康づくりで介護予防」講座での講義を依頼する等して連携を図った。 ●介護等体験、看護実習生の受け入れをし、高齢者の健康保持や地域生活支援に関する学習機会を提供した。中学校による職場体験では、施設での受け入れが困難だったが、学校の要望により学校に出向いて職業講和という形で実施した。 ●区社会福祉協議会と連携し、鷹の台自治会館で体操教室や施設案内を実施した。
稲毛いきいきプラザ	C	●高齢者講演会は、新型コロナウィルス感染症対策を行いつつ、介護予防や健康づくりに役立つ内容を多く取り入れ、事業計画を上回る16回開催した。 ●高齢者福祉講座は、新型コロナウィルス感染症対策を行いつつ、後期講座のみを安全に開催した。 ●広報活動（いきいきだより）については、新型コロナウィルス感染症の影で来館者が減っているため、館内利用者だけでなく地域住民への情報発信を強化するよう内容を一新した。 ●あんしんケアセンター稲毛と協働して、利用者が中心に行う体操教室を開始した。 ●稲毛区健康課と協力し、「ちばしいきいき体操」を事業に取り入れ普及に努めた。 ●屋根付きゲートボール場の利点を活かし、屋外でのラジオ体操を行い、地域の高齢者の参加を促進した。 ●屋外ゲートボール場や館内のロッカー・倉庫の整備を徹底し、サービスの向上を図った。

若葉いきいきプラザ	C	●日々の感染拡大防止策として、浴室利用定員設定及び入れ替えの為の番台設置、部屋ごとの定員の設定（従来の約半）、換気の為の窓・扉開放、三密防止、長話・高唱禁止の説明やお願いなどに細心を払い取り組んだ。 ●利用者に対して、新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報提供や、質問・相談に対して看護師・保健師はもちろん、他職種の職員も含めて親身になって対応した。 ●感染拡大の影響で長期の休館期間があり、開館日数は通常の約64％にとどまり、やむなくすべての事業を当初計画通り行うことは出来なかったが、実施可能な事業については、安全対策を講じつつ、実施方法を創意工夫しながら可能な限り行った。 ●広報紙いきいきだよりに、事業の開催予定を早めに掲載したり、開催報告を写真入りで掲載するなど、施設の情報発信を効果的に行った。 ●高齢者講演会など参加者を募集する行事については、ホームページへの掲載を欠かさず行った。 ●高齢者講演会は、当初計画より多い回数（9回）を実施した。 ●プレ60歳の方に当プラザを周知する機会として、50歳以上の方を対象とした講演会を2回開催した。 ●高齢者講演会において、司法書士等の士業家の方々をボランティア講師として活用した。 ●世代間交流事業については、夏休みに予定していた陶芸教室は中止したが、12月にゲートボール大会を開催し小学生を含む50歳代以下の方にも参加いただき、試合を通して交流を深めた。 ●若葉区内あんしんケアセンター主催の定例地域ケア会議定例会・多職種連絡会議など、コロナ禍でリモート開催されるものも含めて参加した。また、介護予防事業に関する意見交換会、地域づくり支援連絡会に参加した。 ●近隣の関係機関の連携として、あんしんケアセンター出張相談会を20回開催した。公民館との連携では、出張体操の指導者や健康講話の看護師を派遣した。 ●新規事業として、近隣の整形外科病院の理学療法士の協力のもと、コロナ禍で自宅に閉じこもりがちな利用者向けに4回コースにて特別体操教室を開催した。 ●看護実習生の受け入れ、高齢者の健康保持や地域生活支援に関する学習機会を提供した。 ●自主事業として、いきいき体操、骨密度測定会、出張体操教室を開催した。
緑いきいきプラザ	C	●地域ケア連携会議（誉田あんしんネットワーク会議）に参加し、あんしんケアセンターや民生委員、社会福祉協議会緑区事務所、緑区健康課等と情報交換、情報共有を行い、コロナ禍において関係機関と更なる連携と協力体制の強化に努めた。 ●募集人数や内容等の制限が多いなか、介護予防を主とした高齢者講演会を11回、利用者交流（落語会）を1回開催した。また、高齢者講演会の一部（体操系）をコース制にして、中止となった高齢者福祉講座の代わりとした。 ●いきいきだよりやホームページを活用して、介護予防や栄養管理、新型コロナウイルス感染症対策の情報発信を行った。 ●同好会活動支援のため、人数制限のある部屋利用の工夫の仕方を提案及び提供した。内容により活動できない同好会代表に定期的に連絡をして、会員の状況確認や情報提供を行った。 ●地域のあんしんケアセンターと連携をして、感染症対策を徹底しながら、いきいきサロンにて出張健康測定会を開催した。

美浜いきいきプラザ	C	●千葉市あんしんケアセンターや千葉市シニアリーダー事務局などとの連携強化により、施設及び行事の宣伝や、地域住民が近隣の公共施設や団地内集会所などでの継続的介護予防を取り組めるようにするなど、地域支援を実施した。 ●地域支援のための出張体操等については、同行した看護師による健康相談を受け付けるとともに、高齢者に多い病気や事故の予防対策講話について実施した。また、講話に併せてリーフレットを作成し、視覚的な面においても病気や事故の予防や健康維持に関する意識の向上を図れるような支援に努めた。 ●美浜区が含まれる千葉西警察署管内は高齢者を狙った詐欺の認知件数が多く、詐欺被害防止のために館内や出張教室先での声かけによる注意喚起を行った。 ●昨年度の台風災害を機に、改めて地震をはじめとした災害時に利用者の誘導、各職員の役割分担の再確認、避難場所の把握に務め、利用者の安全及び周辺住民に安心感を提供できるよう努めた。 ●緊急事態宣言発出に伴ういきいきプラザ休館の際、地域の高齢者に対する介護予防を停滞させないよう、いきいきプラザを巡回している理学療法士が作成した「ホームエクササイズ冊子」、生活支援コーディネーターが作成した「脳トレプリント」、プラザが作成した「はじめてのいきいきプラザ・センター」「同好会一覧」などの資料を、既存の宣伝ルートの他に自治会の協力を得て配布・回覧してもらい、地域の高齢者の介護予防を支援した。 ●広報の強化として、千葉市美浜区高齢障害支援課や社会福祉協議会美浜区事務所などの公的機関だけでなく、イオンマリンピア店、イオンスタイル検見川浜店、スーパーカスミなどの商業施設などに広報物の配架エリアを拡大した。
蘇我いきいきセンター	C	●事業紹介の広報を館内掲示、ホームページ掲載、センターだより、近隣自治会等への回覧、中央老人クラブ連合会などに出向き行った。 ●講演会では介護予防運動指導士による元気up体操を12回実施、91人に参加いただき、コロナ禍により外出控えで体を動かす機会の減った高齢者に、元気up体操で心も体も元気になっていただく機会を提供した。 ●毎年新宿公民館を拠点に活動する団体より体操講師の派遣依頼を受け、出張体操や相談を行い、地域の高齢者の介護予防を支援した。 ●健康相談や生活相談を通じ、地域で暮らす高齢者の不安や悩みに対し、心に寄り添った相談援助を行った。 ●自主事業のいきいき体操を実施することで、機能回復訓練に参加できなかった方にも体操で身体を動かす機会を提供した。また、シニアリーダー体操やいきいき百歳体操を開催した。
花見川いきいきセンター	C	●花見川団地自治会の事務局ニュース（回覧版）にセンターのイベント等の掲載を依頼して広報に努めた。併せてポスターの掲示にも協力していただいた。 ●高齢者講演会は、計画の5回より数を5回増やし延べ10回開催、151人が参加した。うち4回はボランティア講師を活用し、特に体操系の講演会を7回開催した。 ●地域交流事業としてクリスマスコンサートを2部制で開催し、地域の方へ施設を広報するとともに、合唱は控えて季節の演奏を楽しんでいただいた。 ●あんしんケアセンター花見川と協同で、介護予防に関する講演、健康フェスティバルでの相談会を開催した。

さつきが丘 いきいきセンター	**B**	●近隣自治会へのチラシ配布及び回覧板での広報など利用促進に努め、生きがい活動支援通所事業の新規利用者獲得に繋げた。 ●生きがい活動支援通所事業の広報のため、教養講座体験会を2回実施した。 ●高齢者講演会を当初予定より32回増やし、延べ39回開催、366人が参加した。長期に渡る自粛生活により体を動かしたいという要望を多数いただき、体操系講演会を多く企画した。 ●例年実施の脳年齢測定週間（2週間、1回）に加え、血管年齢測定週間（1週間、1回）を実施した。他区からの参加も多く、気軽に健康状態の把握ができると好評を得た。 ●世代間交流は、感染症拡大防止のため保育所との交流を変更し、40歳以上を対象とした行政書士による生前対策に関する講演を実施した。 ●近隣住民に広くセンターを周知するため、地域交流としてクリスマスコンサートを企画した。 ●DVDを活用したいきいき100歳体操（土曜）は、利用者の要望に応え、二部制にすることで定員を増加して実施し、定期的な運動の機会を提供した。 ●看護実習生を2人受け入れ、高齢者の健康保持や地域生活支援に関する学習機会を提供した。
あやめ台 いきいきセンター	**C**	●高齢者講演会は、新型コロナウィルス感染症対策を行いつつ、介護予防や健康づくり、暮らしに役立つ内容を多く取り入れ事業計画を上回る回数を開催した。 ●高齢者福祉講座は、新型コロナウィルス感染症対策を行いつつ、後期講座のみを安全に開催した。 ●利用者交流事業として、ボッチャ交流会を毎月1回開催し、ボッチャ愛好家や利用者同士の交流の機会を設けた。 ●いきいき体操や自主体操を昨年度より多く開催し、コロナ禍でも安全安心に身体を動かせる機会を設けた。また、自主体操については利用者が主体的に関わる事業として実施した。 ●広報活動（いきいきだより）については、地域住民への情報発信を強化するため、内容やレイアウトを変更した。また、配布する自治会を昨年度より6箇所増やした。 ●照明LED化による照度向上など、館内整備を行い、利用者サービスの向上を図った。

大宮 いきいきセンター	C	●日々の感染拡大防止策として、長話・高唱禁止の説明やお願いなどに細心を払い取り組んだ。 ●利用者に対して、新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報提供や、質問・相談に対して看護師・保健師はもちろん、他職種の職員も含めて親身になって対応した。 ●広報紙いきいきだよりに、事業の開催予定を早め早めに掲載したり、開催報告を写真入りで掲載するなど、施設の情報発信を効果的に行った。 ●広報誌の見直しを行い、一つ一つのスペースを広げて、文字を大きくして誰でも見やすく、わかりやすい紙面の内容に変更し利用の促進に努めた。 ●高齢者講演会や健康測定会など参加者を募集する行事については、ホームページへの掲載を欠かさず行った。 ●高齢者のニーズに沿った内容の高齢者講演会を年4回実施した。うち2回はボランティアの講師を活用した。 ●世代間交流会で、大宮保育所との交流会はコロナ禍で回数は減ったが、実施した。 ●指導員の積極的な声掛けを通して、生活相談の件数が増加した。 ●生きがい活動支援通所事業において、介護予防効果を測るため、体力測定を実施した。 ●大宮小学校の評議委員として、所長が会議や学校行事に出席した。 ●高齢者の地域生活を包括的に支援する社会資源としての一翼を担うべく、関係機関（保健福祉センター、あんしんケアセンター5か所、地区社会福祉協議会、民生・児童委員、生活支援コーディネーター、老人クラブ連合会、地区の病院の地域連携室）との定例会議に出席し、必要時は個別に連絡を取り協力体制をとった。 ●看護実習生の受け入れ、高齢者の健康保持や地域生活支援に関する学習機会を提供した。 ●自主事業として、いきいき体操、出張体操、 訪問健康相談会を開催した。
都賀 いきいきセンター	C	●日々の感染拡大防止策として、長話・高唱禁止の説明やお願いなどに細心を払い取り組んだ。 ●利用者に対して、新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報提供や、質問・相談に対して看護師・保健師はもちろん、他職種の職員も含めて親身になって対応した。 ●広報紙いきいきだよりに、事業の開催予定を早め早めに掲載したり、開催報告を写真入りで掲載するなど、施設の情報発信を効果的に行った。 ●高齢者講演会や健康測定会など参加者を募集する行事については、ホームページへの掲載を欠かさず行った。 ●高齢者の地域生活を支援する社会資源として、保健福祉センター、あんしんケアセンター、生活支援コーディネーター等の関係機関と連絡を取り、協力体制をとった。 ●あんしんケアセンター等と連携して、介護予防に関する講演会やイベントを開催した。 ●コロナ禍により実習の機会が少なくなった看護実習生を受け入れ、高齢者の健康保持や地域生活の状況を学習する機会を提供し、保健福祉センターでの実習時に見学先が少なくなった看護学生に見学の場を提供した。 ●自主事業として、感染症対策を充分に取りながら、いきいき体操、出張体操、訪問健康相談を実施した。

越智 いきいきセンター	C	●募集人数や内容等の制限が多いなか、介護予防を主とした高齢者講演会を8回開催した。「秋の落語会」については、希望者が多いため越智公民館講堂を借用して開催した。 ●実施可能時期から、越智いきいき体操や独自の脳トレ教室をセンター及びおゆみ野ふれあい館で積極的に行い、身体を動かすきっかけや認知機能を維持する場として介護予防に努めた。 ●あんしんケアセンターと協働して、感染症対策を徹底しながら、緑区内地域サロン等を訪問（年3回）し、介護予防体操、健康測定会、健康相談等を行い地域福祉の推進と施設広報に努めた。 ●新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、10月～12月の各月1回地域サロンを訪問し、介護予防体操や健康相談を実施して、地域の高齢者との関わりや生活状況の確認に努めた。 ●越智公民館と協働して利用者交流支援（新春寄席）を開催し、地域における幅広い交流支援を行った。イベント案内等の掲示物も、お互いの施設に掲示し、連携及び関係強化を図った。 ●緊急事態宣言発令中の休館等を有効活用して、オンラインや内部職員、あんしんケアセンター協力の下、職員研修を6回実施した。
土気 いきいきセンター	C	●あんしんケアセンターと協働して緑区内地域サロン等を訪問し、出張体操等を行い地域福祉の推進と施設の広報に努めた。 ●地域自治会回覧板にセンターだよりを依頼し、地域住民への当センターの広報を行った。また、センターだよりやイベント案内等の掲示や配布を近隣の公民館や市民センター、郵便局等に依頼した。 ●活動写真を添付した同好会案内をロビーに掲示し、各会の情報提供を行い活動への支援を実施した。 ●募集人数や内容等の制限が多いなか、介護予防を主とした高齢者講演会を9回開催した。コロナ禍において、気軽に継続して参加できる体操教室を実施した。利用者交流支援として、心の安定を図るためハープのクリスマスコンサートを開催した。 ●土気小学校、土気公民館、土気市民センターと協働して、九都県市合同防災訓練に参加した。 ●千葉県知事、千葉市長選挙での期日前選挙、当日投票の会場として集会室の貸し出しを行った。 ●緊急事態宣言発令中の休館等を有効活用して、内部職員が講師となり職員研修を4回実施した。

真砂 いきいきセンター	C	●新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減したが、利用者数の増加や新規利用者確保を目指し、イオンスタイル検見川浜店やカスミ稲毛海岸店へパンフレットや「理学療法士によるホームエクササイズ冊子」の配架を依頼し、事業の広報に務た。 ●アンケートの結果では、利用の目的が、「体力増進」「友人との交流」「生きがい作り」の3つが主立っていたことから、 生きがい活動支援通所事業を中心に、会話の時間を多く設けたり、自宅でもできるストレッチを紹介した。 ●生きがい活動支援通所事業において、あんしんケアセンター職員にボランティア講師を依頼し、介護保険制度の仕組みを伝えた他、地域資源の案内を行った。 ●出張健康測定相談会として、磯部西住宅の集会所において骨密度の測定と健康相談を実施した。実施に当たっては感染拡大予防に努め、会場の入口にて検温とアルコールの消毒、換気を徹底した。 ●海浜検見川県営住宅へ出張の体操教室を行った。その際、センター便りを配布し、広報に努めた。 ●運動機会の提供として、真砂いきいき体操を第2・4の火曜日に行った。 ●近隣の自治会やあんしんケアセンター等と連絡を取り合い、地域の高齢者の状況把握に務めた。

（2）市による評価

ア　全体

総括 評価	B	所見	市の求める水準に即した管理運営が行われている。 ● 利用者アンケートによる満足度は市の定める数値目標を上回った。 ● 管理運営の履行状況は、各種事業を市の定める実施回数以上実施するなど、市の定める水準を上回る管理運営が行われた。 ● 新型コロナウイルスの対策を徹底することにより、利用者に陽性者を出すことなく運営を行った。また、職員1名が陽性となったが、適切に対応し感染を広げることがなかった。

	利用者数	満足度	管理運営の履行状況							管理経費縮減	総合	A又はBの割合	D又はEの割合
			1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	2 施設管理能力(1)	2 施設管理能力(2)	3 施設の効用の発揮(1)	3 施設の効用の発揮(2)	3 施設の効用の発揮(3)	4 その他				
市による評価	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
中央いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
花見川いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
稲毛いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
若葉いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	B	B	C	-	B	38%	0%
緑いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
美浜いきいきプラザ	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
蘇我いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
花見川いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
さつきが丘いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
あやめ台いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
大宮いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
都賀いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
越智いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
土気いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%
真砂いきいきセンター	－	A	C	C	C	C	C	B	C	-	B	25%	0%

施設名	総括評価	所見
中央 いきいきプラザ	B	● 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ● 40自治会の300ブロックへ広報誌を配布するなど利用促進に努めている。 ● 来館者に積極的に声をかけることで、相談を行いやすい関係を構築しており、生活相談の件数が多い。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 生きがい活動支援通所事業の休止中に、自宅でできる体操の冊子を配布し、電話連絡をするなど、創意工夫していた。 ● 近隣施設との連携として、社会福祉協議会の広報紙に自宅でできる体操の記事を寄稿した。また、自主事業として自主体操等を実施した。
花見川 いきいきプラザ	B	● 生きがい活動支援通所事業のオリジナルチラシを作成し近隣施設で配布するなど、利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 地域交流を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 新型コロナの感染拡大防止のため、浴室の定員の厳守や各場所の消毒などを徹底している。 ● クリスマスコンサートをゲートボール場で開催するなど、創意工夫して事業を実施している。 ● 近隣施設との連携として、施設内であんしんケアセンターの出張相談を実施した。 ● 令和2年度分として納付すべき令和2年4月分の浴室使用料を誤って令和元年度分として市へ納付を行った。
稲毛 いきいきプラザ	B	● 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ● 近隣の公民館・自治会・コミュニティセンター・区役所など27カ所に広報誌を配布している。また、生きがい活動支援通所事業や機能回復訓練のチラシを作成するなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 地域交流を管理運営の基準を上回る回数実施している。 ● 新型コロナの感染拡大防止のため、浴室の定員の厳守や各場所の消毒などを徹底している。 ● ゲートボール場について、ラジオ体操の会場としたり卓球同好会へ貸し出したりするなど創意工夫し、他施設より利用人数が多い。 ● 今年度から、あんしんケアセンター稲毛・稲毛区健康課と協働で自主体操事業を開始した。 ● 事故報告書が市に提出されていなかった。

若葉 いきいきプラザ	**B**	● 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ● 部屋の稼働率が低い日曜日に60代が興味を持ちそうな講座や世代間交流を実施するなど創意工夫している。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ● 新型コロナの感染拡大防止のため、浴室の定員の厳守や各場所の消毒などを徹底している。 ● ゲートボール場で世代間交流としてゲートボール大会を開催。小学生を含む12チームが参加するなど、創意工夫している。 ● 近隣施設との連携として、あんしんケアセンター主催の会議に参加したり、区健康課と協働で講演会を実施したりした。 ● 事故報告書が市に提出されていなかった。
緑 いきいきプラザ	**B**	● 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ● 近隣の約100世帯へチラシのポスティングを開始。また、民生委員や自治会の掲示板を介して広報するなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。特にピラティス教室は60代が多く参加している。 ● 新型コロナの感染拡大防止のため、浴室の定員の厳守や各場所の消毒などを徹底している。 ● 生きがい活動支援通所事業の休止中に、自宅でできる体操の冊子を配布したり電話連絡をしたりするなど創意工夫していた。 ● 緑区健康課と協働で糖尿病の人向けのボッチャ教室を実施するなど創意工夫している。 ● 事故報告書が市に提出されていなかった。 ● 法定点検で指摘された非常用照明灯の故障を放置していた。
美浜 いきいきプラザ	**B**	● 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ● 既存のパンフレットに加え新規利用者向けのパンフレットを作成し、近隣商業施設・区役所・マンション等へ配布し利用促進に努めている。休館中は自宅でできる体操や脳トレの冊子を同封するなど工夫していた。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ● 会員を募集している同好会一覧を作成し、近隣施設へ配布している。 ● 自主事業として、都市再生機構と協働で出張体操教室を行うなど、創意工夫している。
蘇我 いきいきセンター	**B**	● 自治会・コミュニティセンター・公民館・あんしんケアセンターへチラシを配布したり、近隣の世帯へチラシをポスティングするなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 生きがい活動支援通所事業の休止中に、自宅でできる体操の冊子を配布し、電話連絡をするなど、創意工夫していた。 ● 近隣施設との連携として、蘇我コミュニティセンターの利用促進会議に参加。また、あんしんケアセンターと情報交換や講師の依頼を行った。

花見川 いきいきセンター	**B**	● 自治会の掲示板にチラシを掲示するなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ● 地域交流・世代間交流を管理運営の基準を上回る回数を実施している。
さつきが丘 いきいきセンター	**B**	● 公民館・あんしんケアセンターにチラシを配架したり、自治会を通じて近隣455世帯へチラシを回覧するなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 生きがい活動支援通所事業の教養講座の体験会を実施するなど事業の利用促進に努めている。 ● 各種自主体操を多種実施、また、社会福祉協議会地区部会と連携し健康体操を実施している。
あやめ台 いきいきセンター	**B**	● 広報誌を近隣の自治会・コミュニティセンター・あんしんケアセンターに配布。今年度から、ユニバーサルデザインのフォントを用いたりQRコードを添付したりするなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ● 近隣施設との連携として、近隣のあんしんケアセンターと月に1度意見交換を実施。自主事業では自主体操や各種測定会を複数回実施している。 ● 男性の個人利用者が全体の5％と非常に低いが、有効な対策を講じていない。
大宮 いきいきセンター	**B**	● 近隣2つの自治会へいきいきセンターだよりを毎月配布するなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を、管理運営の基準を上回る回数実施している。 ● 世代間交流として、大宮小学校の施設開放に年4回参加するなど管理運営の基準を上回っている。 ● 自主事業として自主体操や各種測定化を実施している。近隣施設との連携として、大宮小学校の評議員会に出席した。 ● 事故報告書が市に提出されていなかった。 ● 男性の個人利用者が全体の15％と低いが、有効な対策を講じていない。
都賀 いきいきセンター	**B**	● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。また、ボランティア講師を積極的に活用している。 ● 近隣施設との連携として、あんしんケアセンター桜木の出張健康相談の受け入れ・同好会の体操の講師の依頼を実施した。
越智 いきいきセンター	**B**	● 公民館・民生委員地区部会・近隣自治会・あんしんケアセンターに広報の協力依頼を行うなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ● 生きがい活動支援通所事業の教養講座の体験会を実施し、男性利用者の増加を試みている。休館中は自宅でできる体操や脳トレの冊子を送付するなど工夫している。 ● 地域との連携として、あんしんケアセンターと協働で出張体操や健康測定会を実施している。また、おゆみ野ふれあい館で脳トレを実施するなど地域ニーズの掘り起こしを積極的に実施している。

土気 いきいきセンター	**B**	● 土気あすみが丘プラザ・公民館・市民センター・郵便局・あんしんケアセンターへ掲示物の依頼をするなど利用促進に努めている。 ● 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ● 自主事業として、体操教室や測定会を多種実施している。また、社協地区部会と連携して出張体操教室を実施した。
真砂 いきいきセンター	**B**	● 施設パンフレットを近隣商業施設・美浜区高齢障害支援課・近隣の住宅へ配布し利用促進に努めている。休館中は自宅でできる体操や脳トレの冊子を同封するなど工夫している。 ● 会員募集中の同好会一覧を作成し広報しており、同好会の新規利用者獲得のための支援を積極的に行っている。 ● 地域交流として、近隣住民を対象とした体操教室を2回開催するなど、管理運営の基準を上回っている。 ● 前述の体操教室は、あんしんケアセンターと協働して実施しており、近隣施設ともよく連携している。

【評価の内容】
Ａ：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
Ｂ：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
Ｃ：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
Ｄ：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
Ｅ：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

（３）保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

・財務状況については、法人全体では前年に引き続いて良好。
・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
① 介護予防についての評価を示す指標についてご検討いただきたい。
② 感染対策を行いながら、引き続き新規利用者や既存の利用者の利用を促進できるような工夫に努めていただきたい。また、男性利用者が減少しているため、男性の利用を促進できるような工夫にも努めていただきたい。